

『時事直言』 No.1749 2025年7月7日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[X(旧 twitter)] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)



時事評論家 増田俊男

## 王様(アメリカ)と私(日本)-「小冊子」Vol.151 の題名

The King and I は有名な歌劇である。

皆様はストーリーをご存知だと思うが、1960年代、シャム(現在のタイ王国)の王子と王女の家庭教師として招かれたイギリスの女性家庭教師が専制王の抵抗に屈せず民主教育を続け、遂に王の死後、王子が後継王となり、奴隷解放をしたという物語である。

日本にとってまるで専制王のようなトランプ(アメリカ)に屈することなくいかに日本が家庭教師の役割を果たすかに日本の将来がかかっている。

こうした観点から「小冊子」Vol. 151 を書く。

是非の購読を願う次第。

## 王様(アメリカ)と私(日本)-「小冊子」

トランプ大統領は英国のエリザベス女王と2018年7月と2019年6月と二回会見している。

トランプは女王と「素晴らしい関係」を持ったとして、「私たちは笑って楽しんだ。そして女王のスタッフたちが『女王は25年ぶりにこんなに楽しい時を持った』と言った。」と自慢した。

女王の言行記録書 "A Voyage Around the Queen" (クレイブ・ブラウン著)によると、女王は訪問中のトランプについて「非常に無礼だ」と言い、又女王はトランプのメラニア夫人について、「トランプ大統領とメラニア夫人とは何らかの取決めをしているに違いない。さもなければどうして彼女が彼との結婚を続けているのか説明が付かない」と言っていたと書かれている。

勿論女王のスタッフはトランプの「25年ぶりにこんなに、、、」の自慢話を否定している。

トランプが英国や欧州をことさら侮辱して喜んでいる姿は見苦しい限りだが、何を隠そうトランプの劣等感の現れ以外の何物でもない。

アメリカは何故トランプのような礼儀知らずの無頼漢を大統領にしなくてはならなかったのかを考えなくてはならない。

「小冊子」Vol. 151 を熟読して下されば幸いである。

### 大好評配信中！増田俊男の「インターネット目からウロコの増田塾」 いつでも繰り返し何度でも視聴可能！

皆様からのご要望にお答えし、「株式指南」を継続的に配信するコンテンツをスタートします。是非、この機会にお申し込みください。

【配信予定内容】○損をさせない「早朝株式指南」○本日の世界政治・経済情勢の裏(真実)  
★いつでも繰り返し何度でも視聴可能。ご視聴方法：PC・スマートフォン・タブレット ※Youtubeの視聴環境が必要となります。詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313、HP：<http://chokugen.com/>) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX：03-3956-1313) までお知らせ下さい。